

第2回 自動車用途コンポジットシンポジウム — ハイブリッド車/電気自動車と複合材料 —

主催：日本材料学会・複合材料部門委員会，同志社大学複合材料研究センター，SAMPEJapan・コンポジット委員会

協賛：社)自動車技術会・関西支部，プラスチック成形加工学会・関西支部
(開催趣旨)

昨年12月に開催された第1回自動車用途コンポジットシンポジウムは準備期間が短かったにも関わらず101名の参加者がありました。基調講演ではホンダおよびトヨタ自動車の材料開発の方々との意見交換により自動車の軽量化による低燃費化に向けた課題に対する関心の高さを窺い知ることができました。懇親会にも多数の方々に参加され幅広い情報交換が行われました。この成果をさらに継続・発展させるため、昨年度に引き続き、第2回自動車用途コンポジットシンポジウムを開催する運びとなりました。

sustainable 社会の構築に向けた取り組みは一段と加速し、ここ1,2年のハイブリッド車の普及は目を見張るものがあります。国内外の自動車メーカー各社はその普及に併せて、次々とハイブリッド車や電気自動車を登場させています。このような自動車産業の取り組みの加速の中で、車体軽量化の切り札としてCFコンポジット化は必須課題となると推定されますが、CFコンポジット車体の量産化に求められる新しい技術開発課題が多く残されています。

今回のシンポジウムでは、今年度はサブタイトル：ハイブリッド車/電気自動車と複合材料と題して開催したいと思います。ハイブリッド車や電気自動車の普及に関連する方々からの基調講演を企画しております。それらの講演が、ハイブリッド車や電気自動車の現状やその方向性を見出し、今後の複合材料開発のドライビングフォースとなることを期待しています。趣旨にご賛同いただけます皆様の研究ならびに技術発表を大いに期待しております。また、企業の方々の技術紹介も大いに歓迎しております。併せて、関連の分野に関心をお持ちの方々や関係される多数の方々の積極的な参加をお待ちしております。

日時：2010年12月11日(土) 10:00～17:30(予定)

場所：同志社大学(今出川キャンパス)寒梅館 KMB203 室

<プログラム>

基調講演：3件を予定

三菱自動車工業株式会社 開発本部 EV・パワートレインシステム技術部

マネージャー(EV要素開発担当) 中森 洋治 氏

講演題目：新世代電気自動車『i-MiEV』の開発と将来展望

独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

燃料電池・水素技術開発部 蓄電技術開発室 室長 弓取 修二 氏

講演題目：次世代自動車用高性能電池開発の現状と課題

～日本は電池の覇者となり得るか？～

マツダ株式会社 技術研究所 主幹研究員 柄岡 孝宏 氏

講演題目：未定

その他 一般講演：10～15件程度を予定

<参加費>

一般: 20,000 円

共催・協賛会員: 8,000 円

学生: 1,000 円

お支払方法: シンポジウム当日、受付にて現金でお支払いをお願いします。

懇親会(事前登録制): 寒梅館 7 階セカンドハウス will 18:00~19:30

<各種締め切り>

講演申込締め切り: 2010 年 10 月 29 日(金)

講演原稿締め切り: 2010 年 11 月 26 日(金) 厳守

シンポジウム・懇親会参加申込締め切り: 2010 年 12 月 3 日(金)

講演申込先: 複合材料研究センター rdccm@mail.doshisha.ac.jp

講演申込フォーマット: 添付の excel ファイルにご記入の上, お申し込みください。指定の excel ファイルは, 複合材料研究センター(rdccm@mail.doshisha.ac.jp)までお問い合わせください。

講演原稿フォーマット: 日本材料学会講演会用原稿タイプ A に準ずる。A4 で 1~2 ページ

<講演時間>

一般講演 : 10 分, 質疑応答 5 分 合計 15 分

power point 2003,2007 を備えた windows 系 PC, 液晶プロジェクターのみ用意致します。

講演多数の場合は, ポスターセッションの開催も検討中です。